

『奈良の平日』の著者と訪ねる**磯城郡田原本町の魅力**

～昭和まちの風情と寺内町の歴史空間を歩く

かつては商都と呼ばれた奈良県磯城（しき）郡田原本町。その面影を残す渋い風情の町並みがあります。重厚な木造商家をはじめ、昭和のはじめに建てられた銀行、瓦屋根に十字架をのせたキリスト教会など、街かどの近代化遺産も味わってください。さかのぼると秀吉の時代、「賤力岳の七本槍」で名をはせた平野長泰が拝領した土地で、真宗の寺内町が形成されました。ゆかりのお寺に立ち寄るのもよし、古いつくりの和菓子屋さんでお土産を探すのもよし。民家の横を流れるきれいな水路では、スケッチをする絵描きさんの姿も見られます。ゆっくりと散策を楽しみましょう。

日時 2015年1月18日 [日]

集合 午後2時 近鉄・田原本駅の西口

ガイド 浅野詠子（ジャーナリスト）

懇親会 午後5時半ごろより 会場は近鉄八木駅の界隈

主な散策ポイント

昭和7年建築の植山医院～レトロな商店街～寺内町の寺前通り～18世紀後半の村田家～天保12年建築の鍵岡分家～民家に寄り添う美しい水路～明治25年建築の田村家～和菓子の雲水堂～大和川の水運の記憶、寺川～昭和8年の木造キリスト教会～昭和初期の銀行建築、奈良中央信用金庫旧本店

費用 1000円 *懇親会別途

申し込みは

松下 090-9058-6761